



令和5年度 公益財団法人櫻谷文庫 事業計画

基本的考え方

櫻谷文庫は、木島櫻谷の居宅である和館、洋館、画室の建造物および櫻谷作品、習作、写生帖等、櫻谷収集の書画書籍類などの収蔵品からなる。また、建造物3棟は、国登録有形文化財、京都市景観重要建造物、京都市指定有形文化財に登録、指定されている。収蔵品については、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての陽明学朱子学関係日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や、近代美術関係資料など一万点以上からなる。建造物、所蔵品の一般公開・展示、収蔵物資料等の調査、整理、データベース化のため、建造物の維持修復、収蔵品等の維持、修復、調査、研究を進める。これらにより、近代建築史、美術・美術史、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。また隣接する学校法人ヴィアートル学園等と連携し、教育活動の推進のため協力、支援をすすめる。

公益目的事業

(1) 春の櫻谷文庫公開展示 (独自)

4月1日、2日に「桃の節句 端午の節句」公開・展示。

期間 4月1日(土)～4月2日(日)の土日(2日間)

公益収入 72,000円

(内訳) 入場料 600円×60人/日×2日=72,000円

公益支出 72,000円

(内訳) 人件費 2日×5人×6,500円=72,000円

事務用品費 3,000円

印刷費 4,300円

通信費 2,000円

旅費交通費 1,000円

雑費 1,000円

(2) 泉屋博古館東京「木島櫻谷—山水夢中」展 (共催)

期間 6月3日(土)～7月23日(日)

共催 泉屋博古館 日本経済新聞 BSフジ 櫻谷文庫

会場 泉屋博古館東京(東京都港区)

櫻谷文庫所蔵品貸出し 200,000円





(3) 櫻谷文庫の随時公開1. (独自)

京都市文化財マネージャー育成講座(4月22日)、立命館大学文学部京フィールドワーク講義、立命館大学アトリサーチセンター、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築造形学部門演習など教育・研究への協力、併せて京都市 MICE 推進事務局に連携し、映画、テレビドラマロケに協力する。

公益収入 30,000 円

(内訳) 大学講義演習関係 10,000 円 文化財マネージャー育成講座 10,000 円 他映像制作協力関係 10,000 円

(4) 櫻谷文庫の随時公開2. (独自)

随時公開については、グループ、団体等との時間調整の上実施する。

公益収入 10,000 円

(5) 櫻谷文庫収蔵品の調査・整理データベース化 (共同)

① 書簡等

数千点以上の書簡類等の整理、調査、スキャンを継続する。なお、経費の発生を抑えるため、調査、整理については臨時アルバイトを雇用せず、泉屋博古館学芸室実方葉子主査、櫻谷文庫業務執行理事門田節の2名で実施する。

② 画材

京都市立芸術大学芸術資源研究センターのプロジェクト「絵具に問う」(プロジェクトリーダー：高林弘実(美術学部准教授)、共同研究者：宇野茂男(京都市立芸術大学美術学部教授)、竹浪遠(京都市立芸術大学美術学部准教授))に協力する。

③ 書籍、典籍等収蔵庫収蔵物

立命館大学アトリサーチセンター、泉屋博古館および櫻谷文庫の共同で、洋館に収蔵されている書籍、典籍ほか櫻谷の収集品のデジタルアーカイブ化の検討をすすめる。



(6) 収蔵物、建築物の修復保全等

- ① 京都市指定景観重要建造物であり京都市指定文化財「門」の劣化部分の修復工事を実施する

門修復工事 予算総額 2,067,670 円 (消費税込み)

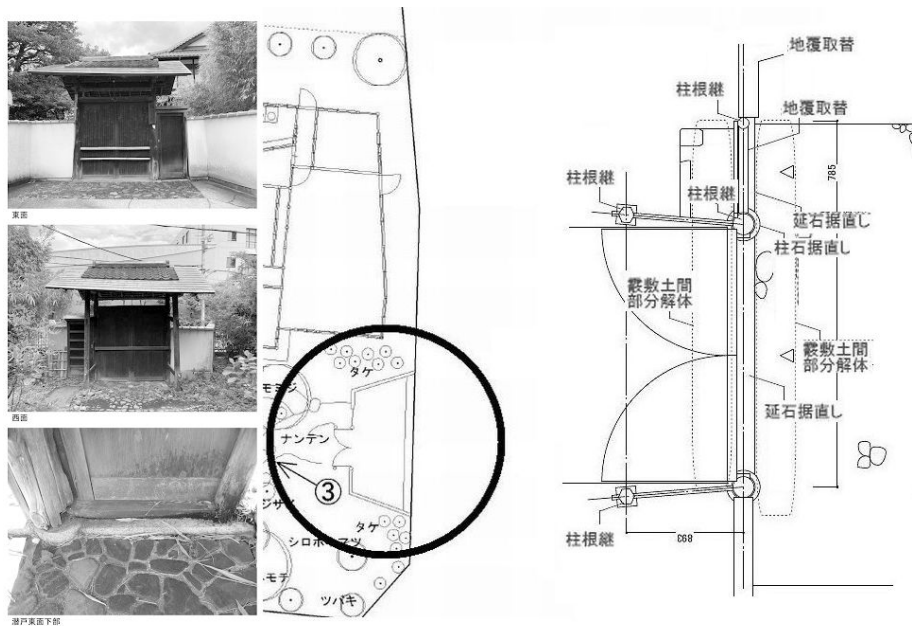
内訳 (申請及び設計監理 一級建築士事務所 特定非営利活動法人古材文化の会 設計室 見積 341,000 円、施工 大工きどわき建築 見積 1,726,670 円)

【破損状況】

- ・北側の柱石の沈下により、門全体が傾斜している
- ・門全体が基礎石から南側へずれている
- ・柱、控え柱の足元が腐朽している
- ・潜戸の地覆及び敷居が腐朽している
- ・扉が下がり開閉が困難な状態になっている
- ・潜戸が開閉できない

【修理内容】

- ・柱石の据直し
- ・柱の根継
- ・立ち直し (傾斜不陸修正)
- ・腐朽材の取り換え
- ・建具調整、補修 (潜戸はそのままとする)
- ・浮き上がり防止対策 (地貫をボルト引き)
- ・柱下部防蟻処理





② 和館、洋館、画室の機械警備および消火設備点検

京都市補助金収入 107,000 円

セコム支払い 227,040 円

内訳 (132,000 円 (機械警備)、95,040 円 (自動火災報知機設備点検))

(8) 地域、美術系、学術教育、メディア連携と櫻谷文庫情報の拡散 (独自)

等持院地域の観光スポットとの連携、衣笠地区の堂本印象美術館他美術系法人、地域の北区役所地域力推進室まちづくり推進担当、立命館大学、等持院、真如寺、平野の家わざ永々棟他との連携、京都への来訪者の多い首都圏での PR 強化のため京都市東京事務所、京福電気鉄道、JR 西日本京都交流推進委員会、JR 東海京都・奈良・近江文化情報事務局、京都市観光協会 (京都駅観光総合案内所を含む)、京都新聞、KBS 京都、NHK 他との連携、情報提供を強化する。既存メディアだけでなく Facebook、Twitter 等の活用、継続的情報発信による情報拡散を図る。

(9) 所在不明の櫻谷作品の所在調査

所在が不明の「涼意」、「うまや」、「港頭の夕」、「孟宗藪」、「松籟」、「獅子 (えもの)」について所在調査を継続する。

(10) 木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する

収益事業等

画家入佐美南子氏 (嵯峨美術大学名誉教授 油絵 二科会理事) の主宰する絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする整美体操教室 (講師: 井上敦子氏) に旧画室を教室として提供する。その他の事業として学校法人ヴィアートル学園との連携による教育支援活動を行う。洋画家浜哲郎氏に制作室として提供していた和館の一部について、教育、地域、美術芸術関係の活用を検討する。